

塾

慶應義塾

317
WINTER 2023



[社中特別号]



TOPICS

ウィズコロナの学生生活

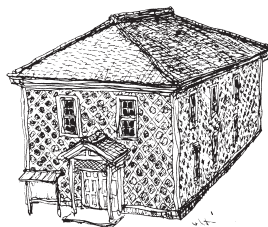
2022年度は全面的に対面授業が再開され、キャンパスライフが戻ってきました。各キャンパスでは、感染対策をしながら、課外活動も含めた学生生活を生き生きと送る塾生たちの姿が見られました。

本誌『塾』について

『塾』は慶應義塾と塾生、保護者を結ぶコミュニケーションツールとして1963（昭和38）年に創刊されました。年4回の発行のうち、冬号については2011年より「社中特別号」として塾員の皆さまにもお届けしています。春（4月）、夏（7月）、秋（10月）の各号やバックナンバーは、義塾公式Webサイトにてお読みいただけます。ぜひご覧ください。慶應義塾Webサイト『塾』バックナンバー [URL https://www.keio.ac.jp/ja/about/learn-more/publications/juku/](https://www.keio.ac.jp/ja/about/learn-more/publications/juku/) HOME → 慶應義塾について → もっと知る → 広報誌・パンフレット → 塾

CONTENTS	演説館 1	MEDICAL OFFICE 20
	「学修者本位」の大学教育をつくる 常任理事 松浦良充	片頭痛の新規の予防療法～ CGRP 関連抗体薬について～ 医学部専任講師 滝沢 翼
	特集 「学問」をあらためて考える 2	一貫教育校の広場 21
	—『学問のすゝめ』初編刊行から150年—	開設75年記念 多目的棟の建設に向けて 志木高等学校教諭 宮橋裕司
	慶應義塾大学薬学部芝共立キャンパス之図 9	社中の丘 22
	ヒサ クニヒコ	慶應義塾のこの1年 26
	塾員山脈 10	慶應義塾のミュージアム 新春の展覧会 30
	メイクアップアーティスト 松下里沙子 君	サークルNOW 31
	半学半教 14	●KART ●Pen Club
	●総合政策学部准教授 篠原舟吾 ●医学部専任講師 秋好健志	Portrait 32
ステンドグラス 16	経済学部2年 早川さくら 君	
各地に建立された慶應義塾「記念碑」	BOOK WINDOWS 33	
談話室 18	萬來舎 34	
企業の現場調査 経済学部教授 田中幹大		
FRONTIER 19		
世界で初めての金星気象データセットの作成 自然科学研究教育センター研究員 藤澤由貴子		

演説館



福澤先生とその門下生たちは、西洋のスピーチ、ディベートを研究し、わが国の「演説」を創始しました。三田演説館は、1875（明治8）年に開館した日本最初の演説会堂です。

●常任理事

まつうらよしみつ
松浦良充

「学修者本位」の大学教育をつくる

現在、グローバル化への対応が、世界の大学・高等教育の重点課題となっています。さらに、情報通信やAIをはじめとする急激な技術革新によって到来する「データ駆動型社会」では、知の創生や再構成、伝承のあり方が大きく変貌します。研究・教育活動における国境の存在は、ますます希薄になっています。では大学のグローバル化とはなんでしょうか。留学生の送り出し・受け入れ人数の拡大、あるいは英語で行われる授業数の増加をはかることでしょうか。研究成果を世界の有力ジャーナルに発信し、大学ランキングの上昇をめざすことでしょうか。いずれも重要なことですが、それらは指標や形式にすぎません。大切なのは、大学が授与する学位の国際的な通用性を質的に担保することです。卒業・修了者が、取得した学位にふさわしく、どのような能力を身につけ、何ができるようになっているのか、それを世界的な水準に準拠して保証することです。大学のパフォーマンスは、卒業・修了者の能力によって証明されるのです。学位が能力証明となるために欠かせないのは、大学における

各学位課程を「学修者本位」の視点から拡充・再構築することです。ただし学修者本位とは、学生が学びたいことを勝手に学んでいけばよい、ということではありません。大学および学部・研究科が、学位授与・教育課程編成・入学者選抜の方針を策定し、何をどのように修得させ、どのような力を身につけさせるのかを明示することが重要です。もはや、個々の教員が教えることを教えていけばよい、という時代は終わりました。学生は、学位を取得することでどのような力を身につけて世界や社会に貢献できるのかを意識しつつ、自ら学ぶことになります。学生の広く深い学びを、大学が組織的に促進する革新が必要です。2022年4月、全学的組織として、大学教学マネジメント推進センターが発足しました。各学部・研究科が、その学位課程を学修者本位の観点から点検・整備・強化するために、相互に討議しつつ必要な施策を立案・推進する要となる組織です。慶應義塾の大学教育が、より高度な世界水準の質を誇るためには、全塾的な知見の結集と社中一致の協働体制が不可欠です。

学問

を

あらためて考える

—『学問のすゝめ』初編刊行から150年—

150

1872

2022

2022年、初編刊行から150年を迎えた『学問のすゝめ』。そこに記されたメッセージは21世紀の今も決して色あせていない。慶應義塾では、あらためて学問を考えるきっかけにしておうと、『学問のすゝめ』150周年プロジェクト「ガクモンノススメ」を展開。今回の特集でもその教えと魅力の一端をお伝えしたい。



法学部政治学科2年
小久保真聖君



商学部3年
金澤萌美君



常任理事・法学部教授
岩谷十郎

OI

座談会…

今だからこそ読みたい
『学問のすゝめ』

理念と現実の綴れ織りから

展開される論の面白さ

—『学問のすゝめ』初編刊行150年
というこゝで、岩谷教授にとって、『学
問のすゝめ』の魅力とは何でしょうか。

岩谷 『学問のすゝめ』は初編から第
十七編までの小冊子を合冊した本で
す。各編、それぞれの課題が扱われ、
読み返すたびに、新しい発見がありま
す。福澤のもの見方は斬新であり、
当時の状況を生き生きと現代の私たち
に届けてくれるという印象を受けてい
ます。二人はどんなきっかけで『学問
のすゝめ』を読みましたか。

金澤 実は今回、初めて読みました。
人としての生き方や、政府と国民の関
係を考え、多くのことを学べました。

第八編の男女平等についてなど、現代
にも通じる内容が大変印象的でした。

小久保 身近に福澤に詳しい方々が多

く、その影響で読みはじめました。特に繰り返し読んだのは初編ですが、やはり「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云えり」という、時代を超えて人目を引き付ける一文を初編の冒頭に入れたセンスは素晴らしいと思います。

岩谷 「天は人の上に人を造らず」は有名な一文ですが、そのあとの「されども」から続く一文への展開が、実は大事です。現代語訳には反映されていない「有様」という言葉に注目してください。「有様」とは現実です。福澤は「天は……」の一文で「理念」を示します。この理念と有様（現実）のコントラストこそが、『学問のすゝめ』で福澤が貫いている主張です。現実が理念に照らされたときに課題が現れ、それを克服する方策が論じられていく。この理念と現実の綴れ織りが論を進めていく仕掛けです。

小久保 タイトルである『学問のすゝめ』を一番表しているのが初編だと思います。福澤は学問とは現実に役立つものであるとあり、学問を目的にせず、それを使って何かをすべきだということを記しています。

金澤 学問の目的は国民の質を上げることであり、最終的には、社会の安定や平和につながっていくという記述から、私はあらためて自分なぜ学問をしているのか、そして、人々が学問をする意味について考えさせられました。

岩谷 福澤は、学問を身に付けることによって、有様の中の違いがすぐになくなるとは言わず、その違いを持ちながら、我々は生まれながら平等であるという考えを持てるようになる。封建時代の身分や門地による差別が残る現実にあつて、新しい学問を通じた新しい認識が、古い制度や価値を相対化し、薄れさせていく。そして、本当の理念的なものに近づいていくと説きました。ただし、これは時間がかかり、すぐに結果が出るものではない。そのような時間のかかる営みへと人々を誘う本であると思います。

現代にも通底する 話題に富んでいる

——現代の私たちが『学問のすゝめ』に感銘を受けるのはなぜでしょうか。

金澤 現代社会は早く結果を求めるあ

まり、福澤の述べた「時間をかけて、じっくりと根本的なところから見直していこう」ということがされていません。だからこそ、現代の私たちにも刺さるのだと思います。

岩谷 学問のあるなしが社会を生きていくパスポートとなることを、福澤は人々に投げかけました。明治時代には、国家試験が導入され、勉強すれば人々は、社会的な上昇が可能となりました。立身出世の時代の到来です。『学問のすゝめ』には「競争」の原理があり、そこでは他者との摩擦や競争が生じます。福澤は個人や国家間の競争を否定しませんが、人間の交際（社会のこと）の一員として貢献することであると、第十編で記しています。

——競争の原理から生じる「怨望」にも触れていますね。

岩谷 第十三編では、人からねたまれ、人をうらやむ感情をいかに克服すべきかについて触れています。ねたまは人と自分を比較する気持ちから生まれますが、競争とは比較です。第十二編では、ある基準で比較すれば、上下優劣の関係の順位が与えられても、別の基

準から見れば逆になる。比較をするならば全体を見なさいと、基準の相対化・多元化を説くのです。

——現代のSNS社会について、第六編と関連付けてどう考えますか。

小久保 SNSにより、言論の自由が実質的に担保されてきました。それは、福澤の目指した文明社会の形式的な達成につながります。現代のネット社会における炎上について、私刑という言葉で表されますが、第六編では「私裁を禁ずる」という一節がありますね。

岩谷 明治3年に制定された「新律綱領」では、自分の祖父母や親が殺されたときに仇討ちをした場合には50回鞭でたたかれる、その程度の処罰でした。江戸時代には、仇討ちは封建道徳の鑑とされ公認されていました。明治3年の社会はまだそうした様相をとどめていたのです。それが、明治15年には、計画性を持った殺人として通常の殺人罪よりも重い罪として罰せられるようになります。福澤は第六編で、お上の命令に下々の者が服従するという有様からの脱却が必要だと述べます。政府と国民は契約関係にあり、国民は税金を払い、政府は法律により国民の生活



解されたのでしょうか。

岩谷 理解するのは難しかったでしょうね。福澤は第六編で、封建時代には義士と讃えられた赤穂浪士を、明治時代においては無駄死にだと述べました。そのことで反対論を持つ人々から暗殺の危険にさらされた。そこで、封建道徳の時代と今は違う、そのようなかで赤穂浪士を褒め続けるのはかえって彼らに失礼だと、回りにくい弁明をしました。現代は誹謗中傷、いわば私裁が渦巻いています。この状況を福澤が見たらどう思うのでしょうか。

人としての生き方、よりどころとする理念や理想がある

——令和の現代に『学問のすゝめ』が

や生命を守る。国民は政府と同等の立場にあり、法律は国民が自らに課したものだと言ったのです。

——福澤の考えは人々に理解

教えてくれることとは何でしょうか。
小久保 『学問のすゝめ』で示された勉強の範疇は、義務教育という形で今の日本では達成できていると感じます。今後はもう一段階進めて、理想の部分に力を入れることを社会全体で進めるべきです。近年、理系的や即席な有形の学問が重視されがちで、当然にそれも重要ですが、だからこそ無形の学問も軽視せず意識してじっくりと育てることが大切です。

金澤 現代はテクノロジーから社会情勢、環境問題まで、人間が影響を受ける要因の多い大変な時代です。だからこそ、一個人としてどう生きるかを考えることが大切で、そのためにもひたむきに学問をすること。それをより多くの人が達成できれば、国や世界の発展、そして平和の構築にもつながっていくと信じています。

岩谷 『学問のすゝめ』で貫かれているモチーフとは、当たり前を疑う視点だと思います。当たり前という有様を疑問視して課題化していくその先に、我々が目指すべき理念や理想があるはず。それらを常に忘れずに歩んでいきたいものです。

「学問」とは何か——『学問のすゝめ』の男女平等論から



福澤研究センター
教授
西澤直子
にしざわなおこ

「学問のすゝめ」といえば、誰でも冒頭の名句を思い浮かべることでしょう。「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云えり」。では『学問のすゝめ』は人間の平等を説いた本なのでしょうか。「いや、実は世の中には賢愚貧富、貴賤上下があると続き、その差は学ぶと学ばざるにある。だから『学問』をしなさいと勧める本なんだよ」と答える方も多いと思います。確かにそれも間違いではありません。でも『学問のすゝめ』を貫く大きな主題は、やはり人間の平等にあると思います。誰に対しても機会が均等に与えられる社会を作らなければなりません。それが福澤諭吉の強い思いでした。彼は、男女も平等でなければならなかった近世では、儒学の陰と陽の概念も

加わり、女性の能力は生来男性より劣り、生涯を通じて生きていくべきであると信じられていました。それに対し福澤は、『学問のすゝめ』第八編で「男も人なり女も人なり」と述べ、男女どちらも「人」であり、男性も女性も一日たりとも「この世」に欠くことができない同等の存在であると主張します。第十三編では「人の心の性は男子も女子も異なるの理なし」と述べ、第十五編では常識を疑って真実を見出したガリレオと比して、「男は外、女は内」という男女関係の常識の変革に挑んだジョン・スチュアート・ミルを紹介します。そして、平等を実現するためには、男女の立場を入れ替えて考えてみよと言います。もし逆の立場であったらどう感じるのか。相手になって考えれば、おのずと答えが見えくる、それが福澤の主張です。ではあらためて、なぜ『学問のすゝめ』なのか。福澤は、学問とはただ難しい文章を読んだり作ったりすること

ではないと言います。『学問のすゝめ』の中で福澤は、社会は他人の智慧や財に依存しない独立した「人」同士の交際によって形成されると考えます。交際で大切なのは、相手の立場を想像できる力です。自身の自由や独立と同様、相手の自由と独立を敬い、双方が成立する道を探ることができる力です。日々の生活の中で情報を得、智徳を育み、自身が歩むべき道を考える。それが「学問」です。福澤はこの著作の中で、「学問」のために多くの示唆を与えてくれています。そして福澤は『学問のすゝめ』最終第十七編の最後の一文を次のように締めくくります。「人にして人を毛嫌いする勿れ」



『東京日日新聞』より（明治7年発行）
提供：福澤研究センター

150年前、明治維新の時代に発表された『学問のすゝめ』だが、現代人の心にも響く数々の名言がちりばめられている。その中から10の名言について補足を加えた現代語訳で紹介する。

顔色容貌を快くして、

一見、直ちに人に厭いとわれるること無きを要す

第17編

顔色や表情をいきいきと明るく見せ、相手にイヤな印象を与えないことは、人と交際する基本的なモラルである。

天は人の上に人を造らず、
人の下に人を造らずと云えり

初編

人に生まれつきの格差はない（だが実際の人間社会にはさまざまな格差が存在する。その理由には学ぶか、学ばないかの差である）。



進まざる者は必ず退き、
退ざる者は必ず進む

第5編

世間の物事は、進歩しないものはそのまますたれていき、進む努力を続けるものは必ず前進するものである。

一身独立して
一国独立する

第3編

民衆はまずは自身の独立を目指し、それによって一国を豊かに強くする。そうすれば西洋の力など恐れるに足りない。

第13編

人間には多くの欠点があるが、人間社会においてもつとも有害といえるのが「怨望（ねたみやうらみ）」である。

凡およそ人間に不徳の箇条多しと雖いえども、
その交際えんぼうに害あるものは
怨望えんぼうより大なるはなし

Column

手付け最中「学問のすゝめ」

三田キャンパス東門のすぐ隣、文銭堂の本舗では『学問のすゝめ』をモチーフにした最中が販売されています。付属の竹べらを使い、餡を自分で最中の皮に詰め



箱の側面には初編の文章を掲載。賞味期限は2カ月。食べ方が英語でも解説されているので、海外への手土産にも

URL <https://bunsendohompo.com/>



自由と我儘との界は、 他人の妨げをなすと なさざるとの間^{さかい}にあり

人は誰も自由に生きることができない。しかし他人に害を及ぼす「自分勝手」はわがままである。

初編

第8編

そもそもこの世に生まれた者は、男であっても、女であっても、それぞれ果たすべき使命を持った人間であることに変わりない。

男も人なり女も人なり

第10編

学問を志したなら大いに学問に励め。農業なら豪農に、商業なら大商人を目指せ！ 小さな安定に満足してはいけない。

学問に入らば大いに学問すべし。 農たらば大農となれ、 商たらば大商となれ

信の世界に偽詐多く、 疑の世界に真理多し

第15編

信じていたことには偽りが多く、疑っていたことが真実であることも多い。一度、自分を疑ってみると意外な事実が見えてくる。

第5編

読書とは学問をするための技術で、学問とは物事をなすための技術に過ぎない。実地での経験を持つことが大切。

読書は学問の術なり、 学問は事をなすの術なり

Column

『学問のすゝめ』150周年プロジェクト「ガクモンノススメ」

● 福澤諭吉が『学問のすゝめ』初編を刊行して150年を迎えた2022年。ますます先行きが不透明な現代にも有効な道標として、今こそ『学問のすゝめ』を広く理解してもらうべく、慶應義塾は「ガクモンノススメ」プロジェクトをスタートした。

● 特設サイト



特設サイトはこちら /



URL <https://www.keio.ac.jp/ja/gakumon150/>

● 特別対談動画

伊藤公平塾長が、スペシャルゲストと対談を行う動画を公開。第一回として、塾員でニュースキャスターとしても活躍する櫻井翔さんが登場。前後編で、櫻井さんの心に残った『学問のすゝめ』の言葉や後輩へのメッセージなどをお話しいただいた。第二回もどうぞ期待！



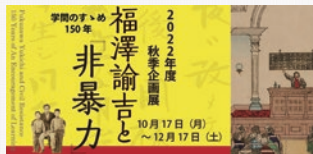
対談シリーズを続々アップ。第一回は伊藤塾長と櫻井翔さんによる対談

● 関連する取り組み

プロジェクトのスタートに合わせ、ステッカー4種を作成。慶應義塾史展示館、三田インフォメーションプラザ、三田祭等で配布された。また生協食堂では「勉強つてなんのためにするの？」というメッセージ付きのトレーが使用された。さらに、慶應義塾史展示館ではプロジェクトと連携した展示、秋季企画展「福澤諭吉と『非暴力』—学問のすゝめ150年—」を開催。慶應義塾生協書籍部やキャンパス近隣および都内大型書店などで『学問のすゝめ』と関連書籍をそろえたブックフェアも開催された。



ブックフェアの様子



慶應義塾史展示館での秋季企画展



配布されたステッカー

慶應義塾大学薬学部 芝共立キャンパスの図

3Fメディアセンター(図書館)
最新のITと専門書が主。一般書に分類された21の専門書コーナー。

屋上 館内の空調のあつぱり、100坪が集中している。100坪ビルの用事のような所。

モビル
立入禁止

1F~10F 各講座の研究室
ユニークな研究室が多く、ニニガオもいっぱい。

東口の片側に在る共立時代の思い出
上野製菓子の伝説の本館跡

共立女子薬学専門学校
芝共立時代の記念碑

3号館

1号館・2号館・3号館は
1Fと9Fでつながっている。

4F 大講堂
さっくびさあつ大ホリ!

1F~3F 講義室
東口

2号館

2Fにけつりどき
重大生薬コレクション

3Fにけつりどき
生薬の宝庫

北口

1F 附属薬局
基準を満たす健康サポート薬品は、薬剤師が専門に指導。

1号館

B1F NMR室

3F 1本講義
(多目的ホール)

B1F 講義室・実習室

正面口 入るに帯の薬をつくる道具が
たくさんあります。

薬師 化学天候

B1F 中講義
共同実験室

2F 生協食堂(学生ホール)

2F 生協売店
白衣のふたと同じ 白衣のふたは KEIO のかわいさ
念のため

キャンパス内には
実験動物飼育室
がある

CHU~

屋上庭園からの展望はゼンマイ!
上野上野 動物園

薬用植物園
命のつな

味噌 - X ¥440
かしわ天太 ¥350
かしわ天太 ¥350
かしわ天太 ¥350
カレー ¥118

illustrated by
七サクニヒコ

メイクアップアーティスト

松下里沙子 君

【まつした りさこ】

2010年文学部美学美術史学専攻卒業。大学卒業後は富士通株式会社に営業職として4年間働く。その後、メイクアップアーティストの道を志し、会社を退職。単身ニューヨークに渡り、アシスタントなどを経てフリーランスのメイクアップアーティストとして活動開始。COACH、MARC JACOBS、MARNIなどのブランド広告撮影、「ELLE」「Harper's BAZAAR」「marie claire」といった一流ファッション誌の撮影などに携わり、ファッションや美容の最前線で活躍してきた。2021年より東京に拠点を移し、講演活動やメイクレッスン、SNSでの情報発信など旺盛に活動領域を広げている。



本当に好きなことを求め 渡米してメイクアップアーティストに

好きなことを求め、一般企業から
メイクアップアーティストの道へ

—— 松下さんは海外で生まれた帰国子女
だったとか。

松下 父の赴任先である米国・ニューヨークで生まれました。9歳でカナダ・トロントに転居したのですが、通うことになった小学校に日本人は私一人。その環境になじめず、1年間ほど独りぼっちで過ごす日々が続きました。そんな孤独から私を救ってくれたのがイメージションと物作りでした。絵やマンガを描いたり、パソコンで架空のストーリーを記事にした雑誌を作って家族に読んでもらったりしていました。頭の中でイメージやストーリーを作り出したり、手を動かして物作りをすることが好きだったんですね。

—— 慶應義塾大学文学部に進学されたのはなぜですか。

松下 進学先の大学を探していると、慶應義塾大学文学部には「美学美術史学専攻」が設置されているのを発見。他大学にはあまりない専攻ですし、「ここに行きたい!」と迷わず志望先に決めました。

大学の授業は期待以上に面白くて、一生懸命勉強していましたね。在学中には学芸員資格も取得しました。



卒業式にて。右が松下さん

ただ当時、私にとって美術はあくまでも自分の趣味の範囲で、将来の職業と結び付けて考えてはいませんでした。富士通株式会社に入社したいと思ったのは、人事担当の方が、面接で私という人間そのものをしっかりと受け入れてくれる印象があり、「世のため、人のため、自分のための3つがそろって初めていい仕事ができる」という言葉に共感を覚えたからです。幸いにも入社試験に合格し、それから4年間は営業職としてスーパーコンピュータを海外に拡販する仕事に従事しました。出張でさまざまな国に行き、人にも大変恵まれ、仕事自体にもやりがいを感じていました。ただ、忙しい毎日をごさず中で、「人生で仕事をしている時間はこんなに長いのか」という気付きがあ

り、次第に「それであれば好きなことを仕事にしたら、もっと幸せなのでは」と思うようになりました。それからは、好きなことで、かつ仕事にできることは何だろうという考えていたのですが、当時仕事の合間に趣味で美容プログラムの活動を行っていて、化粧品やメイクがとにかく大好きだったこともあり、メイクアップアーティストという職業に興味を持ちました。

そこで早速、専門学校が開催している「一日メイク体験」に参加してみました。そこで初めて自分以外の人にメイクをする経験をして、「技術」として学ぶメイクに魅せられました。「人がキレイになる」ということに一種の芸術性を強く感じて、心が震えた瞬間でした。人をメイクで幸せにすることで、自分も幸せになれる仕事だと感じ、私にとってはこのメイクアップアーティストこそが「世のため、人のため、自分のため」の3つを満たせる仕事だと確信して、絶対にこの道に進むと心に決めました。

——そこからメイクアップアーティストとしての第一歩を踏み出したのですね。
松下 はい。会社で働きながら、専門学校のヘアメイク日曜コースに1年間通って、メイクの基礎を身に付けました。そ



MAKE UP FOR EVER ACADEMYにて。中央が松下さん

の後、会社を退職し、業界的にはスタートも遅かったので、とにかくスキルと経験を積みたいたいと思い、大きな撮影やファッションショーがあるニューヨークに行くことにしました。ニューヨークではMAKE UP FOR EVER ACADEMYという学校に半年間通って、ビューティ／ファッション、特殊メイク、ボディメイクなどメイクに関わる技術を幅広く学びました。それと同時に、現地のフォトグラファーに手あたり次第に連絡をして、作品撮りも頻繁に行っていました。納得できる作品が増えてきたら、次の段階として自分が憧れているアーティストに連絡し、作品を見せてアシスタントとして採用してもらいました。また、メイクの学校で知り合った仲間の仕事を手伝

ることも多く、個人で受ける仕事もたくさんしていただきましたね。とにかく経験を積みたかったので、プロのモデルの撮影だけでなく一般の方への出張メイクの仕事もしていました。10代から70代まで、幅広い年代の方がいらっしやいましたし、バックグラウンドも多様で、お肌の状態や悩み、メイクの好みなどもさまざまだったので、大変勉強になり、技術向上に大いに役立ちました。そして2017年からアーティスマネジメント事務所に所属して、主にファッションブランドやファッション誌などの撮影の現場やファッショントレーナーのメイクに携わってきました。

——渡米後、メイクアップアーティストとして順調に歩まれてきたのですか。

松下 いえいえ、全くそんなことはありません。最初の2年ぐらいは現地に知り合いもいないので孤独との闘いでした。周囲のレベルの高さにも圧倒されましたし、ホームシックに陥り、本当につらかったです。やがて仲の良い同業の友人もできてくると次第に仕事を楽しめる環境になってきました。また、フリーランスとして独立後は、「アシスタント精神」を捨て、自分のスタイルを確立するために大変努力をしました。



——松下さん自身のアーティストとしてのスタンスを確立するきっかけになった思い出深い仕事はありますか。

松下 やはりニューヨーク・ファッション・ウィーク（NYFW）など大きなショーでメイクのチームを指揮するリードメイクを経験したことでしょうか。モデルやスタッフなど大勢の人間が関わるカオスのような空間の中でチームをまとめ、いった経験は達成感があり、自信にもつながりました。ニューヨーク、ミラノ、パリ……それぞれのショーでの経験が私の血肉になっていると感じています。

著名な方にメイクをさせていただく機会もあり、それはもちろん素晴らしいのですが、それだけではなく、フォトグラ

ファー、スタイリスト、ヘアスタイリストなど、撮影のクルーから多くの刺激やインスピレーションをもらうことが多いです。撮影ごとにクルーは変わることも多いので、仕事を通して素晴らしい方々にたくさん出会えるのはこの仕事の魅力かもしれません。

——松下さんのメイクアップアーティストとしての個性はどのような点にあるとご自身で感じていますか。

松下 私は繊細さを重視するタイプだと思います。ちょっとしたディテールの違いでメイクの仕上がりが大きく変化します。ブランドのストーリーやクライアंटトの世界観をしっかりと理解して、どのような表現がベストかをクライアंटと一緒で追求していきます。求められている結果はしっかりと出しつつ、いつも自分自身がワクワクできるようなメイクをしたいと思っていますし、細部まで美しく作り込めるように意識しています。

結婚、コロナ禍を機に 活動の拠点を東京へ

——2021年からは、拠点を東京に移して活動されています。

松下 夫が東京の企業に転職することになって、私も東京でメイクの仕事をする

ことに興味があったので、ちょうど良いタイミングではありましたが、帰国後は東京の事務所所属し、20代〜30代の女性向けファッション誌やファッションブランドの撮影のほか、語学力を生かして海外ブランドのCM撮影などに参加することが増えました。また、撮影以外では美容に関する講演活動やメイク講師など、活動の幅を広げています。2022年6月には、かつて学んだ日吉キャンパスで新入生歓迎行事として「コロナ時代のメイクアップ」と銘打った講演をやらせていただき、大変うれしかったです。その講演をした際に、在学生の皆さんの中で見た目に悩んでいる人がとても多いことを知りました。最近SNSなどで画像の加工やフィルターなどが当たり前になり、そういうものに日々触れているうちに、知らず知らずの間に自信を失ってしまっている人も多いように感じます。私はニューヨークでさまざまなバックグラウンドを持つ人にメイクをしたり、多様なカルチャーの美意識に触れたりする中で、美の基準というものは無数にあると学びました。ですから、一人一人、その人だけが持つ美しさを知ってもらいたいと思いますし、そのためにメイクアップアーティストとしてお手伝いできればと



仕事中的の様子

思い、最近は個人レッスンやSNSでのメイク情報の発信にも力を入れています。11月からは事務所を辞めて完全にフリーランスとして活動しています。私は常に前に進んでいないと生きている実感が味わえないタイプなので、メイクに関する仕事なら今後も積極的にチャレンジしてみようという気持ちでいます。

——最後に塾生へのメッセージをお願いします。

松下「感動する心を忘れないで！」でしょうか。ゼミの恩師からの受け売りの

言葉ですが、大切にしています。毎日忙しく過ごしていると、いろいろなことに慣れっこになってしまい、自分の好きなものや心を動かされるものを見過ごしてしまうことがあると思います。ですが、日々の中で「感動したこと」「心から好きなこと」に出会ったときは、その感情を大切に、流さずに育ててほしいなと思います。私はその中で、今の仕事に出会いましたし、最初にこの仕事に出会ったときの感動や情熱を今も忘れることができませぬ。もうあれから10年になりますが、その気持ちに突き動かされて前に進んできました。そうやって積み重ねた日々や努力が、きっとまた未来の自分を支える糧になると思います。

——本日はありがとうございました。



日吉キャンパスでの講演「コロナ時代のメイクアップ」

行政を多様な人間社会の一部として分析する

篠原舟吾 しのはらしゅうご

総合政策学部 准教授

英語と日本語2つの研究会が交流しながら、国際的に行政を分析しています。まだ2年目と新しく、学生主導で活動内容が刻々と変化しています。

近年メディアやSNSで、公務員批判を目にしない日はありません。日本の行政への信頼度は非常に低く、100カ国以上で実施された世論調査 World Values Survey 2010-14によれば、日本の行政サービスの信頼度はOECD加盟国中チェコ、ギリシャ、メキシコに次ぐ下位です。

研究会は、市民と行政のより健全な関係を模索するため、市民の行政に対する態度や行動を実証分析しています。学生には行政を分析する上で、人間は完璧ではなく、公務員も市民と同じ人間であることに留意してほしいと指導しています。

日本国憲法において公務員は「全体の奉仕者」として規定されていますが、多様な市民すべての要求や願望に応えることはできません。国家および地方公務員法は、公務員が「全力を挙げて」職務の遂行に専念することを規定していますが、市民からの批判や待遇悪化によりモチベーションは低下します。公務員を制度や組織の中の歯車のように

に捉えるのではなく、自らの要求や願望を持つ人間として捉えることで、より民主的かつ効率的な行政運営が可能になると考えています。

研究会では、理論や統計を座学で学ぶほか、現地調査を実施し、自治体の公務員や議員の方にインタビューしています。学生には、インタビュー手法を学ぶ上で、論破するのではなく、対話をしてほしいと指導しています。理論や分析を駆使して相手を圧倒するのではなく、相手の方を理解し、行政の課題について議論する術を学んでほしいからです。

行政への批判は、健全な民主主義の証拠とも言えます。しかし、公務員批判を強めることで、行政運営能力が低下する可能性も考慮しなければなりません。例えば、批判を恐れる公務員は、課題解決に向けて困難な挑戦をしなくなるでしょう。日本の行政が、市民と共に新たな課題と向き合える未来を、学生と創り出していきたいです。

協働×失敗×成長

市川裕也君 いちかわゆうや 総合政策学部3年

篠原研究会では、行政に関するさまざまな分野の研究を行っています。私たちの暮らしを支える行政を、世界最先端の知見を取り入れながら分析できる極めて貴重な場です。行政学では、行政と住民が協力して優れた公的サービスを提供するCo-Production(協働)という考え方があります。私たちの研究会はこれを実践し、普段の活動から現地調査に至るまで、先生と学生が学び合いながら活動しています。人間は完璧ではありません。だからこそ、私たちは失敗を恐れず、時に楽しみながら、皆で協力して一歩ずつ成長していくことを大切にしています。



「病院薬剤学教室」が担う義塾の医療薬学研究

あきよし たけし
秋好健志

医学部病院薬剤学教室 専任講師

病院薬剤学教室は、医学部・薬学部、大学病院間の研究と教育の連携拠点として、2021年9月に信濃町キャンパスに新たに設立されたClinical research unitです。

医学部病院薬剤学教室は、医学部と薬学部の共同運営講座として2021年9月に信濃町キャンパスに設置されました。当教室は、医学部、薬学部、大学病院の三者間の連携を強化し、高度先進医療において重要な役割を果たすとともに、Pharmacist-Scientistを育成・輩出することを目的とし、臨床と研究を両輪とした慶應義塾ならではのClinical research unitとして始動しました。2022年5月からは、同キャンパス総合医科学研究棟4階において研究室の稼働を開始し、現在、病院薬剤部長でもある大谷壽一教授を中心に、教員5名、薬学研究科大学院生、薬学部学生など総勢約50名が活動しています。

教室の研究基盤である「薬物動態学」は、薬物の体内動態を評価、解析する学問です。具体的には、精密医療に不可欠な薬物血中濃度コントロールに資するため、質量分析技術を用いた生体機能蛋白質の定量や遺伝的解析など、

患者個別化に有用な情報の創出を目指しています。また、これらの技能や知識を用いて、薬物治療に関して医療従事者が直面するさまざまなクリニカルケースの解決、支援、教育も担っています。

実質稼働開始からわずか半年余りですが、病院の診療科や薬剤部との共同研究を始めています。我々が持つ薬学ならではの研究手法や問題解決手段は、医学部においても臨床研究や医学系基礎研究の一手段として有用であると信じ、今後も共同研究を広げていきたいと考えています。また、理工学部との連携により工学的リソースの医療応用にも着手するなど、全ての分野とのさまざまなコラボレーションを、患者救済の一点に集約して展開しています。これからも、病院薬剤学教室は、医学部や病院薬剤部との連携を基に、Pharmacist-Scientist教育を実装し、世界に冠たる慶應義塾医療薬学研究の展開を目指します。

臨床を知る研究者が育つ環境

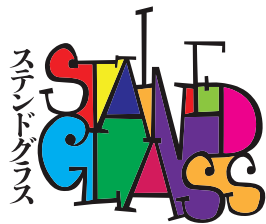
かたおかひろき

片岡寛樹君 薬学研究科後期博士課程2年

病院薬剤学教室は医学部・薬学部・大学病院の連携拠点であり、研究者としての視点と医療従事者としての視点を身に付けるのに最適な環境です。研究生活においては臨床経験豊富な教員の方々の指導により、研究の取り組み方に加えて実臨床における薬物治療上の課題についても理解を深めています。2022年6月に行われた新薬勉強会では大学病院の薬剤師の方々をお招きし、薬剤師目線での薬物治療の実情に根差した新薬の評価を伺うことができ、病院との連携の意義深さを感じました。当研究室で得られる研究遂行能力と臨床からの視座は医療上の課題の立案・解決に対して十全に活用できると考えています。

研究室紹介動画とWebサイト▶





各地に建立された慶應義塾「記念碑」

現在のキャンパス以外にもかつて「慶應義塾」が存在していた。各地にその痕跡を今に伝える「記念碑」があることをご存じだろうか？
発祥の地である東京・築地鉄砲洲、明治初期に分校が開校した大阪、京都、徳島。
今回は慶應義塾ゆかりの土地に建立された4つの記念碑について、写真とともにその来歴や特色について紹介する。

ここから全てが始まった 「慶應義塾発祥の地記念碑」

1858（安政5）年、中津藩中屋敷内で藩士・福澤諭吉が蘭学教授を開始した。これが慶應義塾の起源とされる。中屋敷は江戸・築地鉄砲洲、現在の東京都中央区明石町の聖路加国際病院の建物の辺りと推定されている。



設計：谷口吉郎

この記念碑は義塾創立100年記念事業の一つとして、1958年に聖路加国際病院敷地内に建立。1982年に区道路整備に伴い、従来の位置から病院前の

交差点ロータリーに移転された。

谷口吉郎設計による記念碑は、黒御影石の台座に花崗岩製の書籍の形をしたオブジェが置かれ、表面には『学問のすゝめ』初編初版本の活字と同じ字形で「天は人の上に人を造らず 人は人の下に人を造らず」と刻まれている。なお、同じ中屋敷内で藩医の前野良澤らが『解体新書』を翻訳した事績により「日本洋学発祥の地記念碑」も隣接して建立されており、2基を合わせて「日本近代文化事始の地記念碑」と称されている。

最初の分校として建てられた 「大阪慶應義塾跡記念碑」

明治初期、慶應義塾は地方の学生が就学しやすいようにとの配慮から西日本に3つの分校を設置した。その第1号となったのが「大阪慶應義塾」だ。1873（明治6）年11月に「南大組第六区安堂寺橋通三丁目第百九十二番屋敷丸家善蔵扨家」に開校し、翌年に北浜町2丁目にあった小寺篤兵衛の家に移転すると伝えられる。1875（同8）年



設計：日建設計

6月に閉鎖されるまでの2年ほどの期間ではあったが、大阪慶應義塾では英書科75名、訳書科11名の計86名の学生を輩出している。

記念碑は2009年に小寺篤兵衛屋敷跡（大阪市中央区北浜2丁目）に土地所有者のご厚意を得て建立された（設計・日建設計）。陶器質（白色施釉）の塔の表面には福澤の筆跡で「独立自尊」と刻まれている。

京都府庁内に設置された「京都慶應義塾跡記念碑」

大阪慶應義塾設立から遅れること約3カ月、1874（明治7）年2月に京都慶應義塾が開校した。これは福澤と深い親交があり、京都府政を主導していた横村正直



設計：上野伊三郎

京都府参事の要請による。およそ1年間の短い期間であったが、京都慶應義塾は旧京都守護職邸内の京都中学校に間借りして、「英書」「洋算」「訳書」を教授した。この場所には後に京

都府庁が置かれた。

記念碑は1932年に京都慶應倶楽部によって建立。花崗岩製の石碑の表面には福澤の筆跡による「独立自尊」の文字と建立当時の塾長だった林毅陸の揮毫による「明治七年 京都慶應義塾跡」が刻まれた。京都府庁の門をかつて左側、守衛所の奥まった場所にある。

大阪慶應義塾を受け継いだ「徳島慶應義塾跡記念碑」

徳島慶應義塾は、徳島の有力者たちの要望と援助により、1875（明治8）年6月に閉鎖された大阪慶應義塾を引き継ぐ形で、同年7月に開校し、翌76年11月まで存続した。徳島慶應義塾の正確な所在地はよ



設計：松永佳史

福澤近藤 両翁学塾跡

1868（慶応4）年、中津藩中屋敷の場所が幕府の方針で外国人居留地となったため、福澤は私財を投げ打ち芝新銭座（現・港区浜松町）の越前丸岡藩中屋敷の一部を買取って、約4年間塾舎とした。慶應義塾が三田に移転後、ここに、近藤真琴が創立した攻玉社が移転してきたため、現在、跡地には2人の学塾創立者を顕彰する記念碑が建っている。

くわかっていない。当時の設立願に書かれた地名から旧藩主の蜂須賀家「東御殿」があつたホテル敷地内と推定され、2001年4月に徳島慶應倶楽部が中心となり、黒御影石製のスパイラル型モニュメントとステンレス製の銘板による記念碑が建立された。銘板に彫られた「独立自尊」は福澤の筆跡だ。その後、土地所有者の変更があり、2009年に県庁内に移設されている。

企業の現場調査

経済学部 教授 田中幹大
たなかみきひろ

私は研究の一環で企業訪問調査をよく行う。特に中小企業、なかでも製造業を研究対象としているので、東大阪のような中小企業が集積している地域に足繁く通ってきた。調査は国外も含めて実施しており、経済学部の植田浩史教授、三嶋恒平准教授と共同研究して発表した『中国の日系企業―蘇州と国際産業集積』は、中国江蘇省蘇州市を対象に2005年から2019年までに日系企業、外資系企業、中国ローカル企業、政府機関等あわせて248カ所を調査した成果である。私が企業調査を始めたのは2000年代初め頃からであるから、国内調査も含めると相当数の調査を行ってきたのではないかと思う。

ゼミでも学生に企業調査の重要性を説いて現場に赴くように促している。コロナ禍で企業に行くことができないときでもZoomで実施してきた。もちろん生産現場を直接みることはできないので製造工程の流れや工夫などを観察することはできないが、現場の人の話を聞くことは大事にしてきた。最近は再び学生たちと実際に工場に調査へ出かけるようになっていく。

企業に行って調査することの目的の一つは文献や資料などでは知られていない情報、事実を発見することである。何が新しい情報、事実かを判別するためには何が知られている情報、事実なのかを知っていなければならない。したがって、学生には調査目的に沿った事前の下調べ、場合によっては予備調査がいかに重要かを話してきた。ただ企業の現場に行けばよいということではない。

しかし、調査ということと一見矛盾するようであるが、完璧な調査は調査に行く必要がない。私は中国での調査や国内調査でたびたびそうした調査を遂行してきた。つまり、調査のために対象とそれに関わる情報を予備調査も含めて入念に調べあげれば、調査に行ったときに発見できる情報、事実が予見できるからである。もちろん調査の目的や性格によって異なるが、調査は調査に行く前に終わっていることが望ましい。完璧な調査は調査に行く前に終わらなければならない顔を向けられる。



談話室

教員によるエッセイコーナー

世界で初めての金星気象データセットの作成

自然科学研究教育センター 研究員 藤澤由貴子
ふじさわ ゆきこ

2022年9月、慶應義塾大学法学部の杉本彦教授らとともに、プレスリリースを配信しました。本稿ではその概要を紹介します。

金星は、大きさ・密度・太陽からの距離が地球と似ている「姉妹星」とも呼ばれます。しかし、気温分布や大気状態は地球と大きく異なります。金星では大気全体が自転を追い越す向きに高速回転しており、上層大気では赤道上の

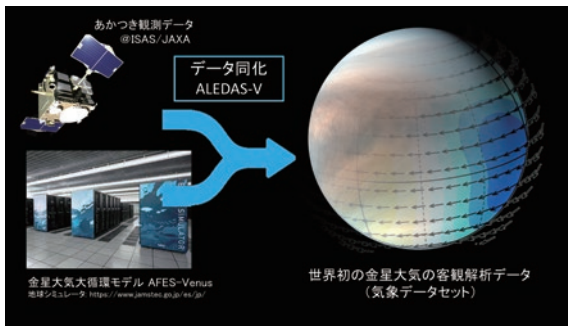
自転速度の60倍(時速約360キロ)

にも達します。「スーパーローテーション」と呼ばれるこの現象のメカニズムは十分に説明されておらず、惑星気象学最大の謎の一つです。

日本の金星探査機「あかつき」は、2015年12月に軌道再投入に成功した後、搭載されたカメラなどによって、今日まで観測データを蓄積してきました。一方で、我々の研究チームは、海洋研究開発機構のスーパーコンピュータ「地球シミュレータ」を用いて、金星大気の数値シミュレーション

を行う「金星大気大循環モデル」の開発を進めてきました。そして今回、地球の気象学研究で用いられているデータ同化手法を導入し、「金星大気大循環モデル」に「あかつき」から得られた水平風速の観測データを取り込み、金星大気の地球にわたる気象データセット(客観解析データ)を世界で初めて作成することに成功しました。

大気現象の分析には、時間空間的に限られた観測データだけでは不十分です。数値シミュレーションの不確実性と観測データの間欠性を補う今回の研究成果は、観測データと数値シミュレーションの両方を最大限に活用することができます。本成果の活用により、スーパーローテーションをはじめとする金星大気謎の解明が大きく進むことを期待しています。本研究は、「あかつき」観測や金星大気数値シミュレーションに関わるたくさんの方々、研究者がそれぞれの知見を共有して成し遂げられました。また、所属する自然科学研究教育センターの多様な分野の研究者を受け入れ、研究中でできる環境に感謝します。



データ同化システムによる金星気象データセット作成の模式図。「あかつき」観測データと「AFES-Venus」の数値シミュレーションの予報データをデータ同化することで、金星大気客観解析データが世界で初めて得られた



片頭痛の新規の予防療法〜CGRP関連抗体薬について〜

片頭痛は有病率が8・4%と頻度の高い疾患です。学生や働き盛り、子育て世代に多い疾患であり、女性の有病率が男性よりも3・6倍高いとされています。

中等度〜重度の頭痛に加え、頭痛発作中は光や音に対して過敏になったり、吐き気を伴ったりすることもあります。約1/4の患者では閃輝暗点（視界にギザギザした光の波が起きる）を代表とする前兆を伴います。欠席や欠勤、最善のパフォーマンスが発揮できない、時には寝込んでしまうなど、日常生活に支障をきたしうる疾患です。

片頭痛の薬物治療は、頭痛が生じた際に使用する急性期治療薬（鎮痛薬）、頭痛の有無にかかわらず予防的に使用する予防療法の2つに大きく分けることができます。予防療法として従来は抗てんかん薬、降圧薬、抗うつ薬などが用いられていました。いずれも他の疾患のために開発さ

れ、後に片頭痛にも有用であることが経験的に明らかになった薬剤です。従来の予防療法は連日の内服が必要でした。効果が不十分な患者、めまい、眠気などの副作用によって継続が困難であった患者もいました。片頭痛の病態に即した予防法の開発が求められていましたが、カルシトニン遺伝子関連ペプチド（Calcitonin gene-related peptide：CGRP）関連

抗体薬が開発され、わが国においても2021年より使用可能となりました。CGRPは頭部の感覚をつかさどる三叉神経系に多く発現していることが知られています。CGRPは脳の周囲の血管に発現しているCGRP受容体に作用して、血管拡張、炎症などに関与します。

CGRPに対する抗体としてガルカネズマブ（エムガルトイ）、フレマネズマブ（アジョビ）、CGRP受容体に対する抗体としてエレヌマブ（アイモビグ）があり

ます。いずれの薬剤も皮下注射で投与間隔は1カ月に1回です。フレマネズマブ（アジョビ）については3カ月に1回の投与も可能です。CGRP関連抗体薬の治療によって片頭痛日数は、約半数の患者では半分以下、10人に1人は消失することも報告されています。金額は従来の薬剤よりもやや高価であり、3割負担の場合、毎月1万3000円程度かかります。

私の外来においてもCGRP関連抗体薬投与後に、頭痛、生活支障ともに改善したという患者が多く、これまでの治療で手詰まりであった患者からも投与後に「人生が変わった」というような喜ばしい声も聞かれています。

CGRP関連抗体薬は月に4日以上片頭痛がある患者において適応になる可能性があります。頭痛で困っている方は医療機関においてぜひともご相談いただければと思います。

一貫教育校の広場

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)

開設75年記念 多目的棟の建設に向けて

志木高等学校（以下本校）は、2023年に開設75年を迎えます。その記念事業として、多目的棟（仮称、以下本棟）の建設を進めています。本校は、「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」を具体化する手段の一つとして適正規模教育をその根幹に掲げています。それは授業の内容によって、少人数、多人数を適宜使い分けられることを意味しています。それを実現するための最適解の一つが本棟の建設でした。語学のように少人数授業が効果的な場合には、教室が分割できる仕様を備えた教室群を、講演や大規模討論などの多人数運用が効果的な場合には、1学年を収容可能なホールを利用することができ、施設が「多目的棟」になります。これまで、ホールを持たなかった本校にとって、教育の幅は大きく広がります。学年規模の利用が可能になるということは、2年次以降の理科選択、総合的な探究の時間の科目選択、そして3年次の自由選択科目のガイダンスなどをこれまで以上に利便性高く効果的に実施できます。

本棟内に卒業生の一人である大山エンリコイサム氏の壁画を展示予定であることは、過去から未来への接点を象徴させるものと



多目的棟想定パース図（左：エントランス、右：外観）

あります。同氏が卒業記念として過去に本校敷地内に残した壁画は、世界を舞台に創作活動を続けるアーティストの初期作品に位置付けられることになりました。その未来となる2023年に、同氏の最新の作品が本棟の壁を飾るのです。このことは、在校生の将来が多様であること、現在が未来につながっていくこと、の良さメッセージになると信じています。

また、本棟は地域との交流を促す舞台装置にもなります。本校で精力的な活動を続ける器楽部やワグネル・ソサイエティー男声合唱団は、これまで外部会場で成果発表を行っていました。これが、ホールを持つことによって自らの学校でも行えることになり、音楽を通じた地域との接点をさらに広げることが期待できます。また、本棟は、美術をはじめとする作品群の展示ができるようになっていきますし、茶室などの日本文化体験施設を備えることで国際交流事業の拠点として機能するようにも考えて設計してあります。

福澤先生の美学の精神に則り、本棟を舞台に「人間交際」がより多様に、より複雑に織り込まれていくことを期待しています。本棟建設には、卒業生を中心とする関係者のご協力が不可欠です。本棟完成までには今少しの時間がかかりますが、より多くの皆さまのご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

● 志木高等学校 教諭

宮橋裕司
みやはしひろし

肖像写真の撮影

福澤諭吉は写真を好み、単身で写っているものだけでも40種類近くあり、集合写真となれば数え切れません。福澤が初めてカメラに収まったのは、幕府の遣米使節として1860年に咸臨丸で渡米したサンフランシスコにおいてとされています。写真は魂を抜くといった迷信すらあった時代に、使節随行者たちが米国で多くの肖像写真を撮らせて国内に持ち帰ったことの意味は大きく、続く1862年の遣欧使節の際も多くの写真が撮られ、中には人類学の研究に使われたものもありました。



提供：福澤研究センター

演説館の建設

演説や討論の実践のための日本最初の演説会堂として、福澤諭吉の私財を投じて1875年に建設されました。当初は三田キャンパス内の塾監局と図書館旧館の間あたりに位置していましたが、関東大震災後の1924年に防災上の見地から同じく三田キャンパス内南西の稲荷山へ移築されました。瓦葺寄せ棟造り、板瓦貼りなまこ壁の外壁で、ガラスを填めた洋風の上げ下げ窓、玄関にはポーチがある和洋折衷の建物には、日本では従来なかった集会席が設けられ、1967年に国の重要文化財に指定されています。『福澤全集緒言』にて、「其規模こそ小なれ、日本開闢以来最第一着の建築、国民の記憶に存す可きものにして、幸に無事に保存することを得ば、後五百年、一種の古跡として見物する人もある可し」と福澤が述べている日本の誇るべき文化財です。現在は、三田演説会や福澤先生ウェーランド経済書講述記念日の記念講演会など義塾の特別行事の会場として使用されています。



住所変更等の届出

改姓、転居等で氏名や住所あるいは勤務先の変更があった場合には、以下のいずれかの方法で塾員センターにお届けくださいますようお願い申し上げます。

1. メールフォーム [URL http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html](http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html)
2. FAX 03-5427-1546
3. 郵送 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾塾員センター

※1の方法による場合は、メールアドレスも塾員情報としてお預かりいたします。なお、2・3の方法による場合は、氏名・卒業年、学部、生年月日、自宅住所、自宅電話番号、勤務先を記載のうえ、お届けください。

社中の丘

「卒業生のページ」

Keio University



社中とは、慶應義塾を構成している全ての人を包含する総称です。このページでは特に塾員（卒業生）の方に向けた情報をお伝えします。

慶應連合三田会大会

2022年10月16日（日）に日吉キャンパスで「2022年慶應連合三田会大会」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により2020年は開催中止、2021年は大会史上初となるオンライン中心での開催となりましたが、2022年は「つながろう、いま。つなげよう、未来。」をスローガンに日吉キャンパスとオンラインのハイブリッド大会となりました。2020年3月に竣工した日吉記念館では、卒業50年を迎えた1972年ご卒業の塾員の皆さまを招待した記念式典をはじめ、河野太郎デジタル大臣による特別講演や伊藤公平塾長、若手塾員、塾生を交えたパネルディスカッションなどのイベントが開催されました。また、日吉キャンパス内では講演会やトークイベント、3年ぶりに復活した模擬店など大いに盛り上がりました。当日は好天に恵まれ、日吉キャンパスは各地から集まった塾員やその家族などで、賑やかな一日となりました。



✦ 三田会活動支援と個人情報保護の両立への取り組み

慶應義塾では、「氏名」「自宅住所」「勤務先」「メールアドレス」を、ご卒業後も塾員情報として、塾員センターのもとで確にお預かりする仕組みをとっています。この仕組みのもとで、塾員一人一人に、慶應義塾からのお知らせをお届けするとともに、三田会、クラス会などの同窓会活動を支援する取り組みにも活用しています。

同窓会（三田会）活動の支援について、地域で活動する三田会からその地域在住の塾員の皆さまに懇親会の開催案内を送付したい旨のご相談を受けることがあります。その場合、あくまでも同窓

会活動に限定のうえで、まず所定の書式に塾員であることが確認できた三田会役員の方複数名の署名捺印をいただき、さらに個人情報の管理体制について問題がないことを確認できた場合に限り、情報提供する方式をとっています。

今後も、同窓会としての三田会活動支援と塾員の皆さまの個人情報保護の両立とのバランスに十分に配慮したうえで、社中の皆さまのつながりが広がるよう取り組んでいきます。また、三田会を統括している慶應連合三田会とも連携して三田会活動の発展に努めてまいります。

慶應オンラインを利用されている方へ

ご登録されているメールアドレスに慶應義塾からの情報や慶應連合三田会からのご通知なども発信しますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

🍷 ラウンジのご紹介 しゃちゆうこうかん ばんらいしゃ 社中交歓 萬來舎

三田キャンパス南校舎3階にある「社中交歓 萬來舎」は、塾員の方ならびに教職員が世代・分野を超えて集う交流の場です。落ち着いた雰囲気のレストランで、飲み物や軽食を提供しており、ケーキセット（税込780円〜）などが人気です。お一人でも、歓談や待ち合わせなどにも幅広くご利用いただけます。



個室（有料・要予約）



営業時間

平日：11時～20時
土曜日：11時～17時
日祝：休業

※2022年12月1日現在
※三田キャンパス一斉休職中ではご利用いただけません。
詳細については右記までお問い合わせください。

お問合せ先

電話：03-3453-5661

URL <http://www2.jukuin.keio.ac.jp/lounge/>

🍷 慶應義塾公式グッズのご紹介

慶應公式グッズ

検索



URL <https://keiogoods.jp/>

慶應義塾の取り組みを伝える商品をはじめ、おすすめの公式グッズをご紹介します。売り上げの一部は奨学基金として塾生に還元されています。（価格は全て税込）

純米大吟醸 智徳2022 (5,800円)

鶴岡タウンキャンパスの先端生命科学研究所開発のメタボローム解析を用いて作りしました。山形県産の大吟醸用のお米「雪女神」を100%使用しています。



BRB リボンミニトートバッグ (4,500円) BRB リボン箱型ポーチ (2,500円)

慶應カラー BRB のオリジナルリボン柄と、エンブレムをプリントした生地は、各地の伝統ある祭の山車を飾る幕や、舞台のどんちよう 緞帳を手掛けるメーカーによる一品です。



慶應義塾 高性能不織布マスク (310円～385円)

エンブレムプリント（ふつうサイズのみ、個別包装5枚入）、ペンマークエンボス加工ふつう/小さめ/子ども（個別包装各5枚入）

理工学部応用化学科環境化学研究室が性能評価に協力した高性能不織布マスク。プリントによるエンブレム入りと、場所を選ばず普段使いできるエンボス加工ペンマーク入りがあります。



駿河版（徳川家康による銅活字出版物）・新井白石書簡クリアファイル (250円)

慶應義塾の貴重書コレクションの中から、徳川家康による金属活字出版物『大蔵一覽集』と『群書治要』、『新井白石書簡』をあしらいました。



ヒマラヤ杉 フォトフレーム (4,200円)、ハコ時計 (6,000円)、キーホルダー (800円)

三田キャンパス図書館旧館の耐震補強工事のため、やむを得ず伐採された樹齢およそ90年のヒマラヤ杉を再利用して制作しました。



取り扱い・お問合せ先

慶應義塾三田インフォメーションプラザ1階
電話：03-5427-1436

✂ 慶應義塾のさらなる教育研究の発展に向けて

慶應義塾は、日本を代表する高等教育機関として、多様かつ独創性に富んだ教育研究活動の推進、競争力ある人材の輩出などを通じて、社会に貢献することを目指しています。

このような特長ある活動を支えるためには安定的な財政基盤の確保が欠かせません。慶應義塾では次の取り組みの一層の強化を図ることにより、魅力あるグローバルな総合学府としての歩みを進めたいと考えます。

慶應義塾教育充実資金

慶應義塾は、AI（人工知能）、量子コンピュータ、サイバーセキュリティなど先進的な研究活動の成果を教育にも還元し、常に独自性に富んだ学問を切り開いてまいりました。また、オンラインを活用した国際交流を含めて、学生が世界に踏み出し国際的視野を身に付けるための取り組みも積極的に進めてまいりました。慶應義塾教育充実資金へのご寄付は、こうした先端教育への取り組みをさらに加速させ、未来の先導者として活躍できる人材を育成するため、教育の重点事業に幅広く活用させていただきます。また「誰も取り残されないキャンパス」の実現を目指し、人道的観点から支援を必要とする学生の学びを継続させるため、ウクライナ避難学生の受け入れ支援にも活用させていただいております。

慶應義塾維持会

福澤諭吉逝去直後の1901年に、「慶應義塾を支えたい」との思いを共有する関係者によって設立されました。年額一口1万円からのご寄付で、慶應義塾の多様な教育研究活動をサポートすることが可能な会員制度を設けています。いただいたご寄付を維持会奨学金（2007年度設置の返済不要の奨学金。主に経済的な理由による修学困難な地方出身の優秀な学生を対象とし、今年度までに計1,538名の奨学生を採用）や外灯設置などのキャンパス整備のほか、ポストコロナ社会における最適かつレジリエントな教育研究環境の構築に向けたさまざまな取り組みに有効に活用させていただいております。

この趣旨にご賛同いただき、塾員の方をはじめ、社中の皆さまからのご支援ご協力を賜わりたく何卒よろしくお願い申し上げます。

※慶應義塾教育充実資金に関する詳細情報はこちら



※維持会に関する詳細情報はこちら



※上記取り組みのほか、ご希望に沿った寄付をお申し込みいただくことも可能です。詳細情報・お問い合わせ先は基金室 Web サイトをご覧ください。



<ご寄付について> 慶應義塾へのご寄付は税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。詳細は基金室 Web サイトをご覧ください。



【個人でお申し込みをいただく場合】

インターネット募金

ご寄付の手続き詳細は基金室 Web サイトをご覧ください。



銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）

義塾所定の払込用紙をお使いの上、金融機関（銀行または郵便局）の窓口からお振り込みください。お手元に払込用紙がない場合は基金室までご請求ください。



【法人・団体でお申し込みをいただく場合】

基金室までご連絡ください。

お問合せ先

慶應義塾基金室

電話：03-5427-1898（平日 10 時～15 時）

メール：kikin-box@adst.keio.ac.jp

慶應義塾のこの1年

塾員の皆さまにもお送りしている「社中特別号」にあたり、2022年にあった主な義塾のニュースをまとめました。各ニュースの詳細やその他の最新のニュースは、義塾Webサイト (<https://www.keio.ac.jp/>) で確認できますので、ご参照ください。

ウクライナ学生歓迎懇談会の実施

ウクライナの学生の学びの権利を守るため、慶應義塾は「ウクライナ避難学生学びの継続支援特別プログラム」を実施し、学びの場を提供すると発表しました。8月に対象学生が決定し、9月22日に無事に訪問留学生4名を迎え入れ、三田キャンパスの図書館旧館記念室で懇談会が行われました。懇談会には、伊藤塾長のほか、受け入れる研究科の委員長等も出席し、日本語を交えながらも4名の学生との交流を図りました。ウクライナ情勢を受け、今後も避難学生へのご支援を広く募るなど、各種支援活動に取り組んでいきます。



「慶應義塾SDGs会議—2022塾生会議」を実施

慶應義塾SDGsの一環として、全学部から選抜された塾生がSDGsを実現するための慶應義塾のビジョン・目標・ターゲットを考える、「2022塾生会議」が行われました。プログラムの前半（6月～7月）は、専門家からSDGsをめぐる世界と日本の現状について学び、後半（10月～12月）は、主に分科会に分かれてディスカッションを行いました。参加した塾生は、SDGs実現に向けて慶應義塾のあるべき姿について意見をまとめ、2023年1月11日に塾長へ提言します。



湘南藤沢中等部・高等部 創立30年記念式典

4月25日、湘南藤沢中等部・高等部創立30年記念式典が執り行われました。式典は、伊藤塾長をはじめ、塾内外の多くの来賓の方々に出席いただき、ハイブリッド形式で行われました。



慶應義塾大学病院 グランドオープン

慶應義塾大学医学部開設100年を記念する事業として、2018年に慶應義塾大学病院1号館が開院しました。そして2022年5月16日には、大学病院の新しい正面玄関が完成。10年の期間を経てついにすべての工事が完了し、グランドオープンを迎えました。



大学塾生家族地域連絡会を 3年ぶりに全国9都市で開催

首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）以外に在任の塾生のご家族、保証人のもとに教職員が直接出向き、大学の近況および塾生の学業・学生生活等について説明する「大学塾生家族地域連絡会」が3年ぶりに実施されました。今回は、感染防止対策を講じた上で、札幌、仙台、宇都宮、金沢、名古屋、大阪、広島、高松、福岡の9都市で開催されました。



「ガクモンノススメ」 プロジェクト

『学問のすゝめ』初編刊行150年を記念し、塾生・受験生をはじめとする多くの方々を読んでいただくことを目的として「ガクモンノススメ」プロジェクトを始動しました。動画では、義塾にゆかりのあるゲストを招き、伊藤塾長と対談、この後も公開が続きます。



特設サイトはこちら



ガクモンノススメ

「学問のすゝめ」150周年プロジェクト

2022年学園祭

2022年の学園祭は各学園祭実行委員会の判断の下、それぞれ感染対策を講じた上で対面・オンライン形式で開催されました。七夕祭、矢上祭と三田祭は、いずれも来場者を制限した上で、ステージ公演のほか、模擬店等の企画も復活し、従来の学園祭期間の賑わいが戻りました。なお、矢上祭は、2019年に台風の影響もあり、実質4年ぶりの対面での開催が実現しました。芝共葉祭や四谷祭は、前年に引き続き、2022年もオンラインにて開催されました。



北京2022オリンピック・パラリンピックと慶應義塾

北京2022オリンピック・パラリンピック冬季大会に2名の塾生、塾員が出場しました。3月31日には、選手の健闘をたたえるための塾長招待会が開催されました。



プロ野球ドラフト会議で、体育会野球部2名の指名

10月20日、プロ野球ドラフト会議で萩尾匡也君（環境情報学部）が読売ジャイアンツより2位指名、橋本達弥君（環境情報学部）が横浜DeNAベイスターズより5位指名を受けました。



中等部創立75周年記念行事

6月20日に、日吉記念館において中等部創立75周年記念講演会が行われました。記念講演会では、中等部の卒業生をはじめ、義塾にゆかりのある方々が集いました。また、11月12日に、三田キャンパス西校舎ホールにて、同記念式典が執り行われました。



中等部創立75周年記念講演会（日吉記念館）



中等部創立75周年記念式典（三田キャンパス西校舎ホール）

「障害学生支援室」の開設と「@easeプロジェクト」の始動

協生環境推進室では、障害のある学生の修学機会を保障し、その学びを支援するために「障害学生支援室」を新たに開設しました。併せて、誰もが支援の一翼を担うという考え方に基づき「@easeプロジェクト」も活動を開始しました。このプロジェクトの開始に伴い、障害のある学生への支援や、バリアフリーに関するさまざまな活動を行う「@easeサポーター」を学部生、大学院生から募り、50名が必要な研修を受け、活動を開始しています。引き続き障害のある学生の支援のためにキャンパスを超えた横断的なサポート体制を整備・構築していきます。



「@easeプロジェクト」の取り組み

協生環境推進室「バリアフリー（障害学生支援）」Webサイト

URL
<https://www.diversity.keio.ac.jp/bf/index.html>



高齢者の当事者体験実習の様子

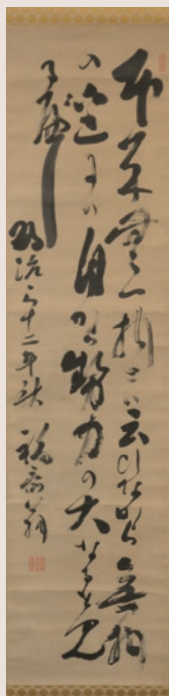


専用ソフトを使用したPCタイクの練習の様子

慶應義塾のミュージアム 新春の展覧会

福澤諭吉記念慶應義塾史展示館 慶應義塾福澤研究センター 新収資料展2023

新春恒例の行事として福澤研究センターが2022年に新たに収蔵した資料を紹介し、慶應義塾では1月10日の福澤先生誕生日に記念会を催す習慣が明治時代の末より100年以上続いています。その会場内、先生直筆の書幅などを飾って新年のお祝いを兼ねていたのがこの展示の起源で、戦後は新しく慶應義塾が入手した資料をお披露目する恒例行事となっています。従来は1月10日の1日限定公開でしたが、より長い期間で覧いただけるようになりました。今回は福澤先生直筆の手紙や書幅はもちろん、福澤門下生の手紙、明治期の塾生の日記などのほか、義塾出身で陸軍中野学校1期生の蔵書、スケート部草創期選手愛用の下駄スケートなどの珍品も出陳されます。



福澤諭吉書幅「本来無一物とは云ひながら……」明治32年(1899)(慶應義塾福澤研究センター・長谷川友子氏寄贈)

会期 2023年1月10日(火)～2月4日(土)
[日・祝は休館]
10時～18時

会場 福澤諭吉記念慶應義塾史展示館
(三田キャンパス 図書館旧館2階)

詳細 [URL](https://history.keio.ac.jp/) <https://history.keio.ac.jp/>

問合せ先 福澤諭吉記念慶應義塾史展示館
電話：03-5427-1200
E-mail：info@history.keio.ac.jp



KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地

特別企画 鏡花のお気に入りたち

2023年の干支は「卯」。「不思議の国のアリス」や「ウサギと亀」などの物語でおなじみのうさぎですが、みなさん、うさぎにはどのようなイメージを持っていますか？ 新年の幕開けに、かわいいけど、少し怖いうさぎの世界にご案内します。

あわせて、うさぎを愛した小説家、泉鏡花のうさぎコレクションと、鏡花の私的な交友グループ「九九九会」を紹介します。



『閑暇のための動物奇態図譜』、マイアー著、1752年、荒俣安旧蔵
博物誌コレクション、三田メディアセンター(慶應義塾図書館)

会期 2023年1月10日(火)～2月9日(木)
[土日は休館]
11時～18時
特別開館 1月21日(土)、2月4日(土)
臨時休館 1月16日(月)・30日(月)

会場 慶應義塾ミュージアム・ commons
(三田キャンパス 東別館)

詳細 [URL](https://bit.ly/3T18Bkw) <https://bit.ly/3T18Bkw>

問合せ先 慶應義塾ミュージアム・ commons
電話：03-5427-2021
E-mail：hello@kemco.keio.ac.jp



ドローンをより身近に感じる

KARTの主な活動はドローンを使った撮影です。発足当初はドローンのレースを中心に活動していましたが、映像に興味を持つメンバーが増えたことからドローンを使った撮影をメインで行うようになりました。しかし、ドローンを使った撮影というのはハードルが高いものです。そのため、湘南藤沢キャンパス内での飛行練習等も頻繁に行うなど、ドローンがより身近に感じられる活動をしています。さらに、編集ソフトの使い方講座を開くなど、ドローン、ひいては映像にハードルを感じさせないような活動を目指しています。また、チームのロゴは発足当時、「和」を代表するドローンチーム」という意味を込めて「和」をモチーフにして作成されました。中央の十字には、日本古来の飛行物体である「四方手裏剣」のように俊敏性と正確性を兼ね備えたチームでありたいとの思いが込められています。これからもその思いを大事にしながら幅広い活動をしていきたいと思います。

とみたさとき
富田智輝君（環境情報学部2年）

KART



サークル NOW



開かれた文学を 目指して

Pen Club



こんにちは！ 文芸サークルのPen Clubです。Pen Clubでは主に年に4回発行される部誌の執筆や合評会、三田祭での販売などを行っています。部員はさまざまな学部の者で構成されており、また、中には過去に文学賞を受賞した者もあり、多様な意見や批評を交わしながら活動しています。ところで皆さまは文芸サークルと聞くところのようなイメージを持たれるでしょうか。恐らく屋内での活動に限られるように想像されるかと思います。しかし、私たちは時には、部員のインスピレーションを働かせるために自然の中に出向くといった屋外での活動も行っています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、近年は対面での活動が難しくなりましたが、本年度から徐々にそのような活動も再開させ、また、新たな試みとして他サークルとの共同制作などにも取り組んでいます。今後も文学への理解をより深めるとともに、活発な活動をしていきたいと思います！

おかたともひろ
岡田知洋君（文学部仏文学専攻2年）

Portrait

ポートレート

はやかわ

早川さくら君 経済学部2年

LGBTQの理解を促すフライヤーを配布。塾生会議でも活躍

高校時代を過ごしたアメリカで、LGBTQに寛容な社会に衝撃を受けた。「日本では表立った差別は少ないけれど、そもそも関心すらない層が多いのでは」。まずは身近なコミュニティから変革をと、昨年6月、友人らとLGBTQの理解を促すフライヤーを作成。日吉キャンパス前で配布した。「自分もできることをしようと思う、という反応が多くうれしかった」。慶應義塾のSDGs実現を推進する「2022塾生会議」のメンバーとしても活動中だ。「理想を語るだけでなく、実際に慶應を変えていけるよう継続して働きかけていきます」。英語で経済学の学位が取得できるPEARLに在籍。SFCのゼミで国際安全保障を学び、サークルでは財政研究に励む多忙な日々を、持ち前の行動力で軽やかに駆け抜ける。



さまざまな活動を通して「何かを変えるには、仲間の存在が大切だと実感した」と語る

「塾生会議」では教育のワーキンググループに所属。「塾生皆が安心して学べる環境を整えたい」

慶應義塾に関連した出版物や教職員の新刊著書などを中心に、本に関する情報をお届けします。

モノと自己との関わりを

ネット上で展示する取り組み

『デジタル世界図絵』

—ヴァーチャル・ミュージアムの取組み—

眞壁宏幹（文学部教授）・眞壁ゼミ著

慶應義塾大学出版会／770円（2022年11月）



近年、芸術表現を応用する教育メソッドとして注目される「アートベース教育」。文学部・眞壁ゼミでは、その試みの一つとして、ゼミ生たちがこれまで関わってきた人やモノを通してそれぞれが自己形成について考察を深め、それをヴァーチャル・ミュージアムの展示作品として表現する「ヴァーチャル・ミュージアム デジタル世界図絵」という取り組みを行っている。本書は若い世代の将来の生き方にベクトルを与えることを目指す、この「教育プロジェクト」のコンセプトから説き起こし、最終章ではヴァーチャル・ミュージアムによって開かれる教育的意義とその可能性を提示する。

教職員執筆の新刊

●安藤寿康（文学部教授）著

『生まれが9割の世界をどう生きるか』

—遺伝と環境による不平等な現実を生き抜く処方箋—

SBクリエイティブ／990円（2022年9月）

●白井さゆり（総合政策学部教授）著

『SDGsファイナンス』

日経BPP 日本経済新聞出版／1045円（2022年9月）

●宮川祥子（看護医療学部准教授）ほか編

『ナイチンゲールの越境9 人工知能はナイチンゲールの夢を見るか?』

日本看護協会出版会／2970円（2022年9月）

●烏谷昌幸（法学部教授）著

『シンボル化の政治学—政治コミュニケーション研究の構成主義的展開』

新曜社／3520円（2022年10月）

●友岡賛（商学部教授）著

『会計学を求めて—基礎概念と存在理由』

慶應義塾大学出版会／2750円（2022年11月）

●朝比奈緑（名誉教授）著

『詩が語るアメリカ—多様な声への誘い』小島遊書房／2090円（2022年11月）



慶應義塾この一冊

『福沢諭吉の初期思想』

—近代的概念の受容と変容—

姜允坑（法学部非常勤講師・

福澤研究センター調査員）著
慶應義塾大学出版会／4950円
（2022年8月）



翻訳者としての福澤諭吉は、何をどのように訳し、何を訳さなかったのか。本書は幕末から明治初年の「初期」に焦点をあて、福澤が西洋からいかなる近代的概念を受容し、変容させて日本社会に伝えようとしたのか、筆者の論文を加筆修正し、書き下ろしを加えて再構成したものである。「自由」「独立」などだけでなく、「入種」「労働」「義務」「民権」「分限」といった概念について、福澤が参照した西洋の書籍とその翻訳・翻案の文章とを比較検討し、そこに表れる翻訳思想、西洋の近代的概念の受容・変容過程を読み解いた。



“萬來舎”は1876(明治9)年に三田山上にできた慶應義塾中中のサロン。残念ながら、戦災で焼失してしまいましたが、その後も新たな建物・施設などにこの名称が継承され、その精神を引き継いできました。このコーナーではその名前の由来「千客万来」にちなみ、さまざまなお知らせや記事を掲載しています。

萬來舎

2023年3月ご卒業予定の方へ

慶應義塾債の償還について

慶應義塾債をお持ちの方は、1月上旬に保証人様宛にお送りする「慶應義塾債償還案内」をご覧ください、早めに償還手続きをおとりください。



詳細はこちら

慶應義塾維持会について

福澤諭吉逝去直後の1901(明治34)年に、義塾の維持発展を願う社中により、寄付を継続して行う会として設立されました。時代とともに変遷を遂げながらも今に引き継がれ、義塾を支えています。皆さまからのご寄付は、「維持会奨学金」をはじめ教育・研究の振興、キャンパスの整備などに活用されています。ご卒業生として、義塾と後輩を支える維持会にぜひご加入いただければ幸いです。ご案内はご卒業後にお送りします。

※慶應義塾債をお持ちの場合、償還金の全額または一部を維持会へ振り替えていただくことができます。

※維持会へのご寄付は慶應義塾への寄付金として、税法上の優遇措置(寄付金控除)を受けることができます。



詳細はこちら

〈お問合せ先〉

慶應義塾 基金室 (平日 10:00~15:00)

電話 03-5427-1898

URL <https://kikin.keio.ac.jp/>

E-mail kikin-box@adst.keio.ac.jp

※維持会、塾債に関する代表的なご質問に対する回答はこちらをご覧ください。



大学卒業式・ 大学院学位授与式のお知らせ

2022年度大学卒業式ならびに大学院学位授与式は、以下のとおり予定しています。

開式時間等の詳細は、慶應義塾 Web サイト (<https://www.keio.ac.jp/ja/>) をご覧ください。



□2022年度 大学卒業式

日付: 2023年3月23日(木)

場所: 日吉記念館(予定)

□2022年度 大学院学位授与式

日付: 2023年3月28日(火)

場所: 日吉記念館(予定)

※新型コロナウイルスの影響により、開催方式を変更する場合がございます。必ず慶應義塾 Web サイト (<https://www.keio.ac.jp/ja/>) をご確認ください。

福澤先生ご命日墓参について

2月3日(金)は福澤先生ご命日です。墓所は麻布山善福寺(地下鉄麻布十番駅下車、徒歩約5分)、墓参時間は午前8時~午後3時30分をお願いいたします。

※墓参の際には、マスクを着用の上、一定の距離を確保してお並びいただく等、新型コロナウイルス感染拡大の防止にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

※夜間の墓参はご遠慮ください。

試験

□秋学期末定期試験について

(医学部・薬学部を除く)

- 1) 試験形態、試験の時間割、注意事項などは学部掲示板や塾生サイト（右記URL）に12月下旬に掲載しましたので、各自で確認してください。
- 2) コロナ禍に伴う注意事項について、必ず塾生サイトおよびkeio.jpを確認してください。
- 3) 不正行為のない真摯な態度で試験に臨んでください。答案の持ち帰りも不正行為とみなされます。不正行為があった場合は、当該科目だけでなく、他の科目の評価も下がるような厳しい処置が行われる場合もあります。また、レポートや論文を作成する場合は、書き方や引用方法等のルールを守り、不正行為になることのないよう、十分に注意してください。

塾生サイト

URL <https://www.students.keio.ac.jp/>

学業成績表

学部生の学業成績表は、keio.jpの学業成績表オンライン閲覧機能にて確認してください。学業成績表の郵送は行いません。2022年度秋学期の学業成績表は、3月10日（金）9時より順次公開します。閲覧には、慶應ID（保証人は保証人ID）・パスワードが必要です。

保証人向け学業成績表等オンライン閲覧サービスの詳細や、保証人ID・パスワードを紛失された場合は、<https://www.students.keio.ac.jp/other/guarantor/grade-manual.html>をご覧ください。



メディアセンター

□春季休校に伴う長期貸出

各キャンパスのメディアセンターで春季休校に伴い長期貸出を実施します。普段より長く資料を借りられるこの機会をぜひ活用してください。

- ・貸出期間：14日貸出の資料：2023年1月26日（木）～3月30日（木）
30日貸出の資料：2023年1月11日（水）～3月14日（火）
- ・返却期限日：4月14日（金）



□最終学年在籍者の皆さんへ

3月に卒業（修了）する方が借りている図書資料の最終返却期限は以下のとおりです。期限を過ぎても返却されない場合、自宅、保証人宛に督促の連絡をすることがありますので注意してください。

- ・学部生：3月14日（火）
- ・大学院生（修士・博士）：3月18日（土）

なお、塾内進学・留年される方は、各キャンパスメディアセンターに申請すると、図書館利用期限を延長することができます。

海外留学について

□国際センター主催 2023年度短期海外研修プログラム（夏季） 参加者募集

国際センターでは、夏季・春季休校中に短期海外研修プログラムを開講しています。

これは、外国語による講義やディスカッションのほか、大学内の寮生活など多彩な諸活動を通じて異文化交流をすることで、国際性豊かな学生を育成することを目的としています。海外での学生生活を体験したい方、外国語によるコミュニケーション能力向上を期待する方、将来長期の留学を考えている方などにとってふさわしい講座といえるでしょう。2023年度夏季休校中には次の4講座が予定されています。

米国…ノートルダム大学、ウィリアム・アンド・メアリー大学

英国…ケンブリッジ大学ダウニング・コレッジ、オックスフォード大学リンカーン・コレッジ

※開催プログラムや実施形態等に変更がある可能性があります。

出願期間は4月頃を予定しています。詳細は3月中旬頃に国際センター Web サイトに掲載します。

国際センター [URL](https://www.ic.keio.ac.jp/) <https://www.ic.keio.ac.jp/>

国際センタートップページ → 慶應から世界へ → 海外への留学 → 学内機関主催の短期プログラム → 短期海外研修プログラム（夏季）概要

□派遣交換留学生募集（1学年間の交換留学）

国際センターでは毎年、海外協定校への派遣交換留学生を募集しています。派遣交換留学は、慶應義塾大学が海外の大学との間で交わした協定に基づいて実施する留学制度です。2023年度派遣については春募集（オーストラリア、ニュージーランド、アルゼンチン）が以下の日程で行われます（秋募集は募集締切）。これらの国への派遣留学を希望する学生は、以下の期間に所定の手続きを行ってください。

2023年度 派遣交換留学春募集 出願期間

出願開始	2023年5月1日(月)
出願締切	2023年5月26日(金) 16:45

国際センター [URL](https://www.ic.keio.ac.jp/) <https://www.ic.keio.ac.jp/>

国際センタートップページ → 慶應から世界へ → 長期プログラム [交換留学]

※募集要項は、各キャンパスの学生部・学生課国際担当、SFC 事務室で配布している、『2023年度 留学のてびき』を参照してください。また、募集要項は国際センター Web サイトでもご確認いただけます。

※出願に際して、語学能力証明書が必要です。英語を使って留学を希望する場合は、TOEFL iBT 70 点以上もしくは IELTS 5.5 以上の能力証明が必要です（留学先によって要件が異なります）。出願時に証明書の提出が間に合うように、語学能力試験を受けてください。

※相談は早めに各キャンパス担当窓口へ。



編集後記

今号の特集は、『学問』をあらためて考える」です。昨年は福澤先生が『学問のすゝめ』初編を刊行してから150年の節目の年となりました。1876年までに17編が執筆されています。

コロナに続いてウクライナ情勢など、私たちは先が見通せない、極めて予測困難な時代を生きています。この激動の時代にこそ同書に触れてほしいとの願いから、義塾では「ガクモンノススメ」プロジェクトを始動しました。動画をはじめ書店でのブックフェアなど、イベント等の情報を特設サイトで順次発信します。「学ぶ」ことの大切さを見つめ直すきっかけになることを願っています。

刊行から150年経った今でもなお、国の未来を計り、生き方の羅針盤となる金言がそこにあります。(広報室長 山崎敬夫)

次号(318号)の発行は
4月1日予定

通巻 第317号
編集人 山崎敬夫
発行人 岩谷一郎
発行所 慶應義塾
2023年1月1日発行

お問い合わせ等は以下へお願い
します(住所変更は必ず学生部
へお届けください)。

〒108-8345
東京都港区三田2-15-45
慶應義塾広報室「塾」編集部
Tel 03-5427-1541(直)
Fax 03-5441-7640
m-juku@adst.keio.ac.jp

※バックナンバーは、Webサイ
トにてご覧いただけます(2011
年以降)。https://www.keio.
ac.jp/ja/about/learn-more/
publications/juku/

奨学金

□2023年度奨学金の申請を予定して
いる方へ

奨学金申請には、父母の収入に関する書類が必要になりますので、準備してください。

- ・所得証明書(市区町村役所発行のもの
で、収入金額等が***などで目隠し
されていないこと。所得の有無にかか
わらず提出)
- ・2022年分源泉徴収票、確定申告書(控)
第1表・第2表両方のコピー
- ・その他 詳しくは、Webサイトで確認して
ください。

[URL](https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/apply/form.html) https://www.students.keio.ac.jp/
com/scholarships/apply/form.html

2023年度『奨学金案内』は3月中旬
頃に公開する予定です。

□日本学生支援機構奨学金・返還猶予に
ついて(貸与奨学金受給者)

3月に貸与期間が終了し、2023年度
も引き続き在学および進学する方は、4
月中に「在学届」を提出することにより、
奨学金の返還開始が猶予されます。詳細
は各キャンパスで確認してください。

□日本学生支援機構奨学金・「特に優れ
た業績による返還免除」について

大学院第一種奨学金採用者で2022年
度に貸与期間が終了する方については、
「特に優れた業績による返還免除」制度
の対象となります。募集時期は各キャン
パスで確認してください。

卒業生発表

「卒業の日」は3月10日です。

本年度卒業予定の学部生については
学業成績表(オンライン閲覧)の左上に
判定欄があり、卒業、原級、原級(休
学)、原級(留学)のいずれかの判定が
記載されますので、確認してください。

証明書に関しては卒業の日以降の発
行になりますので、卒業者の卒業証明
書、成績証明書は3月10日(金)以
降に学内証明書発行機、全国のコンビ
ニエンスストア*での発行が可能です
(就職先や進学先に提出が必要な場合
があります)。

※詳細は、塾生サイトを確認してください。

なお、医学部・薬学部の卒業発表に
ついては、信濃町・芝共立キャンパス
生課からの案内を確認してください。

成績発表、卒業発表前に大学から
連絡することは一切ありません。
また、電話・郵便での卒業生氏名
の問合せには一切応じられません。

就職・進路

□進路届の提出(登録)について

最終学年在籍者(就職以外の進路の
方、進路が未定の方、社会人学生で復
職される方なども含む)全員が「進路
届」を提出(登録)する必要があります。

keio.jpにログインし、「就職活動体験
記システム」トップページの「進路届提
出」ボタンを押下、画面の指示に従い
提出(登録)してください。

[URL](https://taikenki.adst.keio.ac.jp/) https://taikenki.adst.keio.ac.jp/

ご不明点は各キャンパスの就職・進路
支援担当部署にお問い合わせください。



Pen Mark Collection

中等部のユニコン像



<https://forms.gle/X9x3UJR4KYkLnsP78>

今号の内容や誌面全般に関して、ご意見・ご感想をお寄せください。
今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。